



刈谷市の『国際化・多文化共生』かわら版

Vol.02 / FREE

KARIYA GLOCAL LETTER

『刈谷市国際化・多文化共生推進計画』(H24.3策定)に掲げた3つの重点協働プロジェクトの取り組み状況を報告する広報紙

【モデル地区・学区プロジェクト】一ツ木多文化共生プロジェクト 第1弾「持ち寄りワールドパーティー」報告

ひとつぎしみんかん ひとつぎじゅうみんゆうし ちゅうしん だれ ちいき かんしん も それぞれ ぶんか
一ツ木市民館で、一ツ木住民有志が中心となり、「誰もが、地域に関心を持ち、各々の文化
を大切にし、助け合う」まちに向け、外国人と日本人が交流するパーティーを開催しました。



● 一品持ち寄りのワールドパーティーの開始!

中国料理の「水餃子」「落花生塩炒め」「麻婆豆腐」、ブラジル料理の「ポロサウガード(塩辛いケーキ)、フィリピン料理の「パンシトカントン(フィリピン焼きそば)」、日本料理の「おはぎ」「マスの甘露煮」などワールドワイドな料理やデザート・お菓子・ジュースの数々。鍋いっぱいのおでんや、その場で作る「出来たて焼きそば」「たません」もありました。また、外国人と日本人、外国人同士で話しが進み、新しい知り合いや友人もできたようでした。

● お腹を満たした後は、ゲーム大会!

まずは「椅子取りゲーム」。約50人が輪になりラテン音楽に合わせて、少なくなっていく椅子を巡って、みんな必死で参加。笑いあり、涙ありの時間でした。

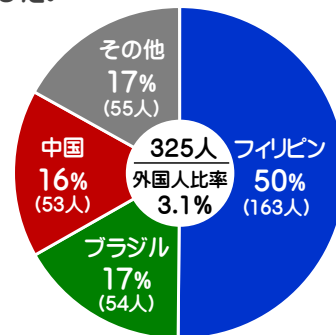
次は「ビンゴゲーム」。発表される数字にドキドキしながら1列そろったらビンゴ!うれしいプレゼントをもらいました。言葉はなくても体験と感情を共有した楽しいひとときでした。

● 片付けも一緒に!

最後に、愛知教育大学が一ツ木市民館で行っている「外国にルーツをもつ子ども向け日本語教室」の紹介、アンケートを行い、片付けも一緒にして、終わりました。

- 開催概要**
- 日時: 2013年9月14日(土) 18:30-20:30
 - 場所: 一ツ木市民館 2階ホール
 - 参加者: 42人(外国籍25人:中国、フィリピン、ブラジル、スペイン、日本人17人)、住民スタッフ8人、事務局7人、総勢57人
 - プログラム: 1. お国の言葉「こんばんは〜!」 2. 立食で料理を食べながら歓談 3. イス取りゲーム・ビンゴゲーム 4. アンケート・お知らせ 5. 片付け

■ 豆知識: 一ツ木町の外国人数は325人で、市内で最も数が多い町です。外国人比率は3.1%です(県2.1%)。国籍内訳ではフィリピンが半数を占め、ブラジル、中国、その他が残りを等分しています。



■ これまでの経過 ■

- 2012年度
 - 6/25 かりがね小学校ヒアリング
 - 6/29 一ツ木地区ヒアリング①
 - 10/24 一ツ木地区ヒアリング②
 - 2/下旬 一ツ木町在住外国人アンケート
- 2013年度
 - 5/23 プロジェクト設立確認会議
 - 6/01 一ツ木多文化サロン(中国編)
 - 6/02 一ツ木多文化サロン(ブラジル編)
 - 6/09 一ツ木多文化サロン(フィリピン編)
 - 7/03 第1回プロジェクト会議
 - 8/01 第2回プロジェクト会議
 - 8/18 サロン参加外国人事前説明・交流会

■ 地域住民による地域住民のためのプロジェクト

参加者募集中!
(詳細は裏面参照)

2013.11.1 現在

「国際化・多文化共生推進計画」で、市内で最も外国人が多く住む地域である一ツ木町が「モデル地区」に位置づけられた後、2012年度の準備期間を経て、2013年度から地域の役員OB・OGを中心とした住民有志による「一ツ木多文化共生プロジェクト」が始動しました。「プロジェクト会議」では、多文化共生のための企画や準備について話し合っています。より多くの外国人住民と顔の見える関係をつなげていくために、アンケートに答えてくれた方を集めた国籍別の「多文化サロン」で具体的な気持ちや考えを聞いたり、多文化サロンに来てくれた方を集めた「事前説明・交流会」でパーティーの内容を一緒に考えたりして、「持ち寄りワールドパーティー」を開催しました。今後も活動を続けていきます。関心のある方はぜひご参加ください!



● プロジェクト会議の様子



● 多文化サロンの様子



● 事前説明・交流会の様子

※「GLOCAL」は、GLOBAL(地球規模)とLOCAL(地域的)を合わせた造語で、「地域における国際化・多文化共生」、「地球大に考え・地域で行動」という意味が込められています。

【モデル地区・学区プロジェクト】「一ツ木町在住外国人アンケート」・「国籍別一ツ木多文化サロン」の報告

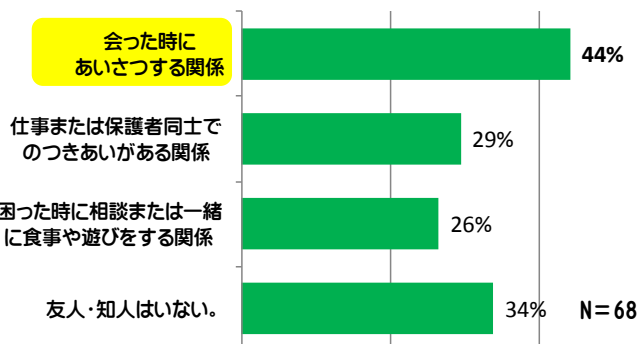


げんじょう ちいきじゅうみん かんけい いちぶ かぎ へんけん さべつ かん ひと おお
現状では地域住民との関係は一部に限られ、偏見・差別を感じている人もいますが、多くの
 がいこくじんじゅうみん ちいきじゅうみんどうし こうりゅう こみゅにていづく こくけん おも
外国人住民が「地域住民同士で交流したり、コミュニティ作りにも貢献したい」と思っています。

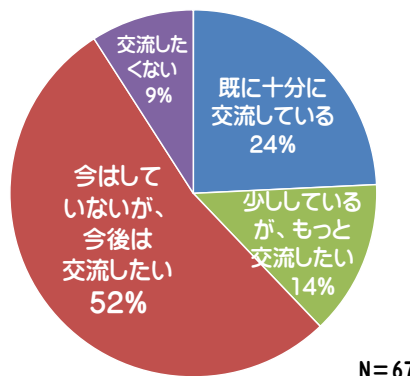
外国人住民の地域コミュニティとの「つながり」の現状と意識

● 外国人住民の一ツ木自治会行事へ参加率は 32%とあまり高くありません。また、一ツ木町の日本人の友人・知人は比較的いますが、会った時あいさつする程度が多く、一緒に食事をしたり、困った時に相談している友人がいる人は多くありません (Q1)。しかし、地域の人たちとの交流意向は高く、町に何か役に立ちたいと多くの人が思っています (Q2・Q3)。

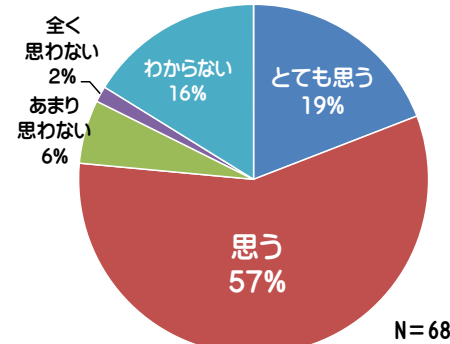
Q1 一ツ木町の友人・知人たちはどのような関係ですか。
 【複数回答】



Q2 地域の人たちと交流したいと思いますか。



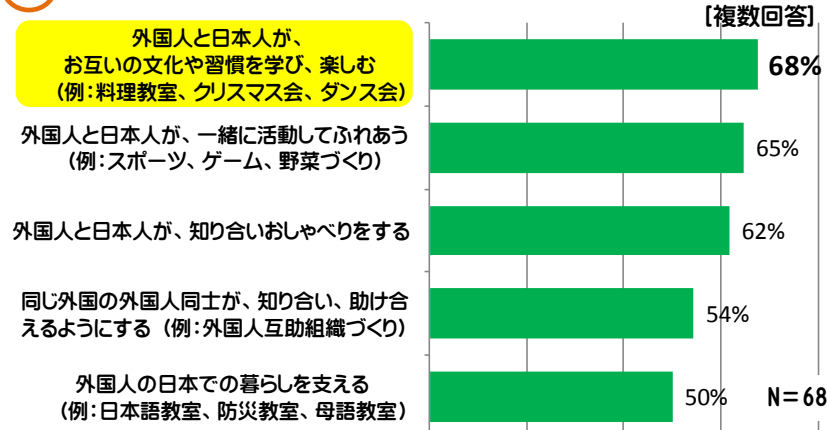
Q3 一ツ木町のコミュニティの一員として、何か役に立ちたいと思いますか。



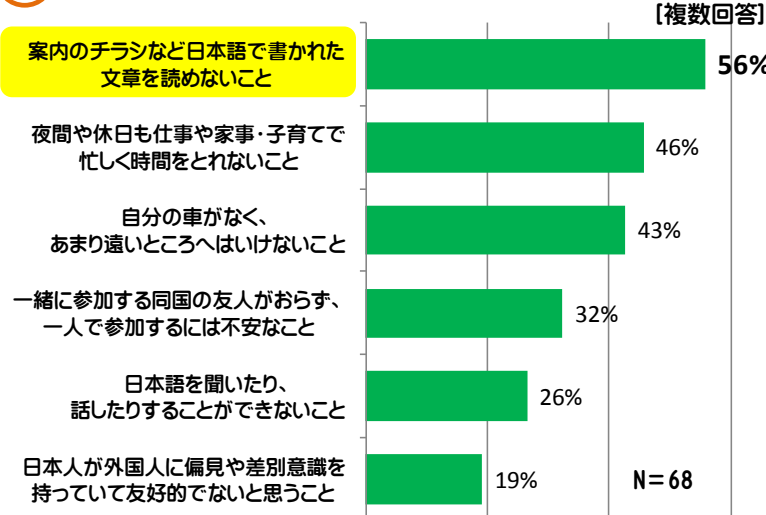
外国人住民が期待する交流方法と障害となっていること

● 外国人住民が期待する交流の方法としては、「文化交流」「体験交流」「おしゃべり交流」に対してニーズが多いです (Q4)。交流に参加するうえでの障害としては、「日本語読み能力」「多忙」「移動手段がない」が多く、「日本語話す聞く能力」「偏見・差別」は比較的少数です (Q5)。

Q4 ビジョンを実現するために、具体的にどのような企画があるとよいですか。
 【複数回答】



Q5 あなたが企画に参加するうえで障害となっていることは何ですか。
 【複数回答】



外国人住民に聞きました!

「一ツ木町で、具体的にやりたいこと、貢献できそうなこと」

◆ アンケート自由意見
 ● 多文化サロン意見



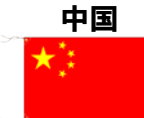
フィリピン

- ◆ 日本人と外国人が参加できるスポーツやバーベキューでの触れ合い
- ◆ ろうあ者のため同じ障害をもつ日本人と出会う。英語の手話なら教え、日本語の手話を学びたい。
- いろいろな文化を教えてください。また、自分が教えられることは教えたい(例:料理が得意)。
- 自分が世話役になるので、フィリピン人コミュニティを作りたい。



ブラジル

- ◆ 地区の祭りや運動会などのイベントに参加したい。
- ◆ 互いの国の文化や宗教についてよく分からないので、知り合った方がいい。
- ごみ収集、分別、片付け方などを学ぶ機会があるとよい。
- 祭りにおいては、盆踊りだけでなく、サンバもミックスできるとよい。



中国

- ◆ 一ツ木町で日本人と外国人の友達を作り、一ツ木町の活動に自分の力を出したい。
- ◆ 中国語を学びたい日本人、外国人に教えたい。
- 日本語教室は近い所で行われるとよい。
- 日本人と中国人のハーフの子供がいるが、学校などでのいじめが心配なのでなんとかしたい。

一ツ木町在住外国人アンケートの概要

- ◇ 調査対象:一ツ木町に住む 16 歳以上のすべての外国人 273 名
- ◇ 調査方法:調査票の郵送・回収による方法
- ◇ 回収率:25%(68 名が回答)
- ◇ 国籍:フィリピン 37 名(54%)、中国 20 名(29%)、ブラジル 7 名(10%)、韓国朝鮮 4 名(6%)
- ◇ 性別:男 29 名(43%)、女 38 名(56%)
- ◇ 居住年数:5 年未満 28 名(41%)、5~10 年未満 23 名(34%)、10 年以上 16 名(23%)
- ◇ 定住意向:できる限り住み続けたい 50 名(74%)

プロジェクトメンバー募集中!!



一ツ木多文化共生プロジェクトでは、随時、メンバーを募集しています!

- 目的** 外国人と日本人との交流、国籍に関わらず暮らしやすいまちづくりを進める。
- 活動** 月1回程度の会合(主に平日夜間、わきあいあい!)と多文化イベントなどの開催。
- 資格** 一ツ木町およびその周辺に在住、在勤、在学、在活動の市民であればどなたでも。
- 問合せ先** 刈谷市 市民協働課 協働推進係 TEL:0566-95-0002 E-mail: kyodo@city.kariya.lg.jp

~参加のメリット~ 多様な国籍・文化の人と知り合えるチャンスが得られます! やりがいのあるまちづくりに仲間とともに参加できます!